



KITA 研修実績

2021年度 (JICA遠隔研修)



2021年度は新型コロナウイルスの感染拡大と長期化により、2020年度に引き続きJICA来日研修が中止となり、全てが遠隔 (リモート) 研修での実施となりました。KITAでは遠隔研修としてライブとオンデマンドの2方式を併用しながら計29コースの遠隔研修を実施しました。

公益財団法人 北九州国際技術協力協会
2022年5月30日

2021年度 JICA遠隔(リモート)研修コース実績一覧

No.	コース名	コースリーダー	技術研修期間(遠隔)		研修形態		研修員数
			研修開始日	研修終了日	オンデマンド	ライブ	
I 環境管理							
1	リサイクル推進による循環型社会構築に向けた廃棄物の適正処理技術	指輪 勤	2021/10/18	2021/12/23	○	○	10
2	コンポスト事業運営	山下俊郎	2022/1/17	2022/2/10	○	○	3
3	有害廃棄物の処理・処分における適正処理技術の推進	原口清史	2022/2/21	2022/3/10	○	○	5
II 水資源・処理							
1	下水道システム維持管理(A)	貴戸 東	2022/1/17	2022/2/18	○	○	4
2	水環境行政(計画・分析)	貴戸 東	2021/11/15	2021/12/17	○	○	6
3	統合水資源管理	緒方信一	2021/11/22	2021/12/22	○	○	7
4	分散型汚水処理システム導入・普及	緒方信一	2022/1/17	2022/2/11	○	○	10
5	アフリカ地域 村落飲料水管理(B)	原口清史	2022/1/17	2022/2/16	○	○	4
III 生産技術・地場産業活性化							
1	地域の特色を活かした産業振興(B)	宿利直巳	2022/1/25	2022/2/26	○	○	9
2	先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略(B)(C)	窪田琢也	2022/2/5	2022/2/26	○	○	4
3	先進国市場を対象にした輸出振興/マーケティング戦略(C)	窪田琢也	2021/8/1 2021/11/27	2021/8/31 2021/12/18	○	○	8
4	職業訓練の運営・管理と質的強化(C)	有竹岩夫	2021/7/1 2021/11/24	2021/8/6 2021/12/10	○	○	5
5	品質管理・生産性向上(日本的ものづくり)	鳥飼久敏	2021/11/29	2021/12/17		○	4
6	産業界の要望に応える電気電子分野人材の育成	植山高次	2021/9/1	2021/10/25		○	4
7	アフリカ地域 起業家育成・中小零細企業活性化	中島康紀	2022/1/10	2022/2/4	○		6
8	起業家育成・スタートアップエコシステム形成促進	中島康紀	2021/11/8	2021/12/10	○	○	11
9	IoT、AIを活用した第四次産業革命のビジネス革新	中島康紀	2022/2/10	2022/3/15	○	○	2
10	日系社会研修(集団) 日本的モノづくり技術	鳥飼久敏	2022/2/1	2022/2/22		○	5
11	青年研修 パキスタン職業訓練	有竹岩夫	2022/1/17	2022/1/28		○	7
IV 省・新エネルギー							
1	エネルギーの高効率利用と省エネの推進(A)	川口健三	2022/1/31	2022/3/18		○	6
2	再生可能エネルギー導入計画-太陽光発電を例として-(A)	植山高次 森永 郁	2021/5/17 2022/1/4	2021/6/11 2022/2/14		○	7
3	再生可能エネルギー導入計画-太陽光発電を例として-(B)	中村 博 植山高次	2021/6/21 2021/11/8	2021/7/16 2021/12/17		○	9
4	再生可能エネルギー導入計画-太陽光発電を例として-(B)(2019)	古賀義啓	2022/2/10	2022/3/23		○	5
5	地熱掘削マネージメント	高崎義則 山下幸介	2021/11/23	2021/12/9		○	9
6	カザフスタン 産業部門の省エネルギー推進	緒方 勲	2021/10/4	2021/11/4		○	9
7	セルビア 再生可能エネルギーの大量導入に備えた電力系統安定化	中村 博	2022/2/14	2022/3/7		○	4
V 保健衛生・都市開発・他							
1	食品安全行政	中原幸治	2021/10/25	2021/11/30	○	○	7
2	持続的な都市開発のための都市経営(A)	山根 信	2021/11/10	2021/12/3	○	○	10
3	持続的な都市開発のための都市経営(B)	高崎義則	2022/1/25	2022/2/17	○	○	8

研修方式	研修方法	長所
オンデマンド	映像字幕挿入、あるいはPowerPointの講義資料に翻訳音声吹き込み、YouTubeで研修員へ配信する。	研修員が自由な時間に何回でも視聴でき、時差の問題がない。
ライブ	ZOOMを通して予め準備した講義資料をプレゼンし、リアルタイムに質疑応答を行う。	研修員、講師、コースリーダー、通訳など全員が直接に対話できる。

注) 研修員数は、前年度研修としてカウントされた方々も含まれています。

ZOOMライブ研修に参加された海外研修員とのスクリーンショット



エネルギーの高効率利用と省エネの推進
(アジア、アフリカ、東欧、中南米) 川口CL



産業部門の省エネルギー推進
(カブ アスタ) 緒方勲CL



統合水資源管理
(アジア、アフリカ) 緒方信一CL



職業訓練の運営・管理と質的強化
(中南米) 有竹CL



持続的な都市開発のための都市経営 (B)
(中南米) 高崎CL



地域の特色を活かした産業振興
(中南米) 宿利CL



日本のモノづくり技術 (中南米) 鳥飼CL



持続的な都市開発のための都市経営 (A)
(アジア、アフリカ) 山根CL



再生可能エネルギー導入計画 (B)
(アジア、アフリカ、中東) 中村CL

多くのコースリーダーは前年度の経験もあり、ZOOMを利用した遠隔研修に慣れてきたものの、国・地域によっては通信インフラの状況が良くなく、研修中に幾度となく参加と退席を繰り返す研修員もいて、対応に苦慮されたコースリーダーもおられました。

また、研修事業の主な対象地域は、アフリカ、アジア、中南米、東欧などでありますが、以下のように紛争や政変が発生している地域・国が増えつつあり、予定されていた研修コースへの参加が急遽取り止めとなるなど、研修を通した国際協力活動に影を落としてつつあります。

- ・ロシア軍に侵攻されたウクライナ
- ・クーデターにより国軍政権となったミャンマー
- ・タリバーン政権となったアフガニスタン
- ・政府軍と反政府軍の内戦が続く南スーダン 等々